

有言実行 再び世界を制覇！

加茂学園3年生 南愛美さん



昨年の加茂里山通信秋号で加茂学園の南愛美さんの世界最大のジュニアゴルフ大会U.S.キッズゴルフ選手権の7歳以下女子の部での優勝をお伝えしましたが、今年また8歳の部で見事優勝を飾り、2連覇しました。去年のインタビューで連覇することを宣言しており、小出市長との会見でも連覇の約束をしていたので、正に有言実行を果たしました。1年ぶりに会った愛美さんは3年生になり身長も伸びて一回り大きくなっていました。話を聞いていて精神面の成長を強く感じました。殊にゴルフのことを話すときの表情が引き締まり、学校でのことを話すときのにこやかさとは対照的でした。幼くして既にアスリートの面影があります。



加茂の夏から秋へ

加茂地区市民祭り

恒例の加茂市民祭りは8月24日(土)の開催した。今年の会場は舞台がなくなつて、踊りの輪が目立つような工夫がされていまし

加茂のデマンドタクシー

うな出演者が並びました。ゲストも含め会場を巻き込んで一体となった盛り上がりでした。



た。3重に重なる踊りの輪は見事で、来場した小出市長も「加茂はすごいね」と感心されていました。

加茂地区敬老会

加茂地区敬老会は、9月29日(日)に加茂公民館で開催されました。敬老会の対象者は1260人ほど。

加茂里山通信

令和6年秋号

発行 市原商工会議所
加茂里山通信編集部
編集長 征矢貫造

た。世界50ヶ国とアメリカの47州を勝ち抜いてきた98名で行われました。出場者は昨年とほとんど変わらなかったそうです。この中で2日目にトップに立つと集中力を切らさずバットを次々と決め1打差で優勝しました。

大会前のセレモニーで前年度優勝者だけが乗れるチャリバンカーに乗って地域の人たちが手を振り歓迎する中をパレードしたのが本場に気持ちよくて、優勝して来年もまた乗りたいとチャレンジャーの気持ちになったそうです。



居住するジュニアゴルファーの中で、特に優秀な成績を収めている選手を強化指定選手に認定し、市内市内の協力ゴルフ場での練習環境を提供しています。この活動は世界で活躍するプロゴルファーを目指すジュニア選手たちのさらなる成長を後押しすることを目的としており、練習にかかる費用の一部を助成金として支給します。

きた近藤大河君(4年生)の4人の世界チャンピオンがいます。根本悠誠君の弟の将誠君(4年生)も含めた5人は市原市ジュニアゴルフ協会(JGA)の強化指定選手で、市内の小学3年生から高校3年生までの強化指定選手11人に含まれます。協会は市原市に

悠誠君(9年生、現在アメリカに留学中)、そして今年1月に転校して

ははじめ、須藤樹君(8年生)、根本

これからはつりついています。

アメリカでプロデビューすること、

加茂学園での生活は楽しく、夢は

ジャヤーの気持ちになったそうです。

して来年もまた乗りたいとチャレン

るチャリバンカーに乗って地域の人

が手を振り歓迎する中をパレード

したのが本場に気持ちよくて、優勝

して来年もまた乗りたいとチャレン

加茂学園は今

市総合体育大会・新人体育大会
各競技に出場



市英語発表会

9月13日(金)に市民会館で市英語発表会が行われました。加茂学園からは、代表として4名の生徒が参加しました。夏休みから英語科教員・A.L.T.の指導を受けながら練習を重ねてきた生徒たちは、大勢の人を前に堂々と発表しました。

ふれあい読み聞かせ



加茂学園の特色である「ふれあい活動」の一環として、9月25日(水)昼休みに学習委員会会の生徒が2本の紙芝居を上演しました。会場の図書室には159年生の生徒たちが大勢詰めかけ、臨場感あふれる物語の世界に浸っていました。

加茂学園の東城 裕太 教諭が先日御逝去されました。謹んで御冥福をお祈りいたします。

(遠山里山通信員)

レンゲの種をプレゼント



レンゲ草には、土を肥やす働きがあるといわれ、昔前は「緑肥(りよくひ)」として田に種をまき、春にはレンゲ草が咲いた景色を見ることができました。加茂里山通信では菜の花の景色に続いてレンゲの景観も素敵だと思ひ、読者の皆様にレンゲの種をプレゼントする企画を行います。

応募要領
住所・氏名・電話番号を記入して、どこに、どのくらいの面積で種をまくか等を書いてハガキで応募ください。例えば、〇〇町の道路沿いの休耕田3反に町会有志でまくよ、みたいな感じで。

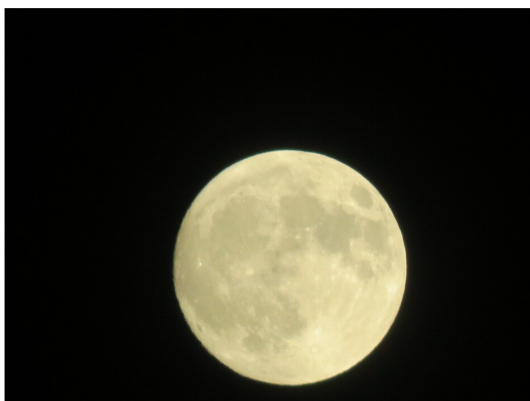
申し込みの多い場合には編集部で審査をさせていただきます。当選者は20kgを用意しました。1反あたり2〜3kg見当で配布します。

※種の引き渡しは当選された方と打ち合わせさせていただきます。

応募先
〒2900081
市原市五井中央西1-2-25
市原商工会議所
「加茂里山通信プレゼント」係

締切り 10月31日(木) 当日消印有効

編集後記



・本当に暑い夏でした。今年は気温が40度に達していた時が何度もありました。真夏が9月20日位まで続きこれほど涼しい秋の到来を待ち望んだことはないと思います。日中は外作業等は控えるようにと市の放送があつても休めない作業はたくさんあります。それでも夏痩せもせず何とか過ごせたので体のほうがこの暑い夏に少しづつ慣れてきたのなと思います。

・海水温の上昇、日本列島の異常な暑さ、線状降水帯の発生、これらは地球温暖化と切り離せない問題です。能登の水害は正月の能登半島地震の被災地に追い打ちをかけるような甚大な被害でした。復興に向けて歩み始めた人々の心も折れるような自然災害に言葉もありません。被災地に笑顔が戻る日が来ることを祈るばかりです。

・この通信の「里山」シリーズでもたびたび猪、鹿、狼の被害が報告されています。これらの有害獣は現段階で増えることはあつても劇的に減ることはないといことが最大の問題点で、それを前提に対応を考えなければいけません。養蚕の畑の周辺の空き地や土手がこのところイノシシ軍団にミズをとるために土を掘り返されてぼろぼろになっています。何年か前に植えて今年実をつけた、6本の柿の木も実を取るために枝を折られてしまいました。不思議なことにサツマイモのある畑は今のところ無事です。まさか熟成を待っているわけでもないと思うのですが。

・今年の中秋の名月は雲もなくよく見えました。ススキの穂が垂れ、秋が深まり、界限が色付き始めます。寒くなる前のこの時期が、一年で一番過ごしやすいかも

(征矢里山通信員)

皆様と共に歩む観光



ワカサギ釣りのシーズン到来!
高滝湖観光企業組合
TEL 0436-98-1277

愛車のある幸せな暮らし
応援します!
安全・安心
有限会社 全日本ロータスクラブ加盟店
小茶自動車
市原市石神227
TEL0436-96-0482
FAX0436-96-1293

次回は1月20日発行予定です。
情報提供 取材依頼は近頃の通信員へ。
メールでも受け付けます。
記事に関する意見、お問い合わせは左記へ。
市原商工会議所
0436(22)4305 担当 霜崎
Eメール 1sabo@1sci.or.jp



(大曾根T里山通信員)

兼岡さんは学生たちにはずいぶん慕われ、この交流が本に当り乗った。学生たちも地元の人たちと対話することとして大仕事として大事なことではないかと話してくれました。

（従糸里山通信員）

月崎寄りの大久保駅手前は竹が生い茂り、列車からは全く見通しのきかないところでした。多くの人々の手で竹を伐採し根をとり土を均し、花の咲く場所になりました。昨年夏から夏場にヒマワリが咲いていま。松本靖彦さんが市原看護専門学校の学生さん達に声をかけ、地元の人たちと一緒に植え付けをしたものです。苗は川西造園さんが大阪から取り寄せたもので、下から花が咲き始め、7月初めから3か月間咲く特別なヒマワリとのこと、花の検査アプリ「ハナハナ」では「シロタエヒマワリ」と表示されました。花畑はインシ対策に電柵が回され、朝晩に地元の兼岡敏夫さんが水かけをしていることもあって猛暑の中でも咲き誇っていました。



大久保駅ひまわり畑の話

市原商工会議所ニュース 44年の歴史に幕！ イトーヨーカドー姉崎店撤退

去る9月、（株）イトーヨーカ堂店舗管理部が来所されイトーヨーカドー姉崎店の撤退について説明がありました。令和7年2月をもって、長年にわたり地域に貢献してきたイトーヨーカドー姉崎店が営業を終了し、撤退します。姉崎店は市原市姉崎地区の商業拠点として多くの市民に親しまれてきましたが、閉店の決断が下されました。



イトーヨーカドー姉崎店が営業を終了し、撤退します。姉崎店は市原市姉崎地区の商業拠点として多くの市民に親しまれてきましたが、閉店の決断が下されました。

市原商工会議所ニュース 44年の歴史に幕！ イトーヨーカドー姉崎店撤退

里山の二晩の2024秋 アイジクの赤ワイン煮

産直や道の駅へ行くアイジク加工用として売っているものがあります。あまり口の開いてない小粒の物がいいです。

アイジク1kgはよく洗いヘタを切る。鍋に湯を沸かしアイジクを入れて2〜3分茹で灰汁を抜く。ザルに上げ、鍋に赤ワイン400cc、砂糖200g、ガラメ



100g、レモン汁小さじ2、いちじくを入れて煮込む。（1時間くらい）さめてからブレンヨグルトをかけて食べると美味しいですよ。子供のころ家に大きなアイジクの木があり、たくさん実りました。そのころはよくジャムを煮ていたので、アイジクジャムの味は今でも懐かしい気分になります。

秋の産直には新米、栗、生落花生などが並び、大変賑わっていました。家の近くでは秋ミウガが出始め、茹で、胡瓜、しょうが、紫蘇の穂と共に『やたら漬』の季節になりました。家の

昭和村文化祭のお知らせ

日時 11月2日（土） 9:15〜14:15

会場 市原市万田野732-6

内容 ギター演奏 まちコーラス 来園 加茂地区内保育園 加茂学園児童・生徒の作品展 模擬店 喫茶 フリーマーケット バザー等

多くの方の来場をお待ちしております

人と環境が一体となって大切な未来へ 自然環境と人間との調和を目指して

杉田建材株式会社

本社 市原市万田野 26 TEL 0436(96)1311
市原支店 市原市惣社1-1-22 TEL 0436(24)0511
南総支店 市原市牛久450-1 TEL 0436(50)0111
URL http://www.sugita-group.com/

安心・解体工事の クドウ商店 相談・見積り無料！

空き家・倉庫・ブロック塀 樹木伐採・残置物の撤去

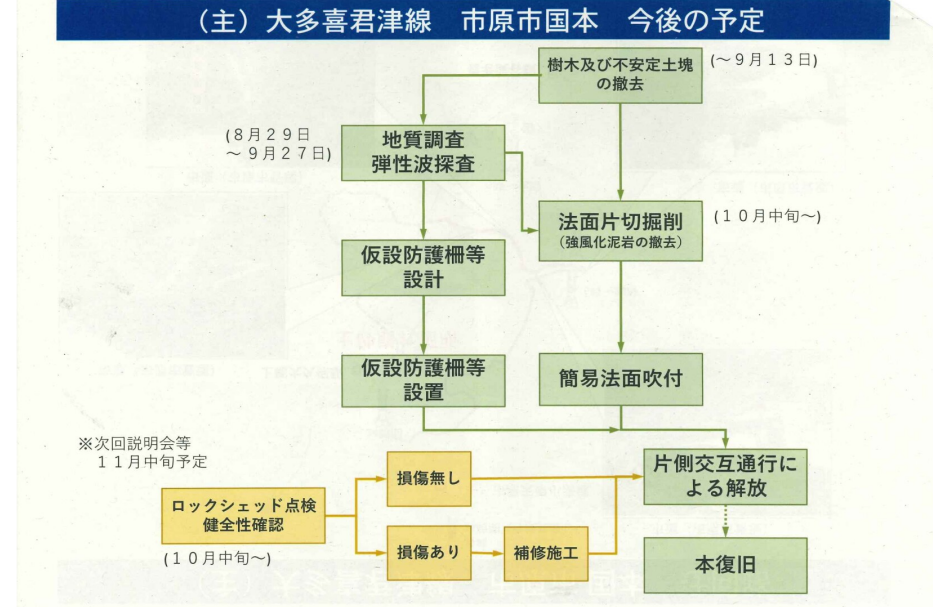
お気軽にお電話ください！ TEL 0436-98-3903
市原市五井中央東1-8-4 (株) 清心興業 千葉県知事（登2）1967号



（主）大多喜君津線 市原市国本 崩落経緯

2月6日21日崩落
4月6日26日、27日崩落
3月6日22日崩落
1月6日19日崩落

7月5日状況写真



里山生活でよく困ったことも不便と思うこともなく、自分にとっては居心地のいいところ思っています。買い物も界隈のスーパーやホームセンターで足りるし、ネット上で必要なものはほとんど買えてしまうので買い物で東京に出かける必要性はまったくなくていいほどありません。複合的な映画館も市内には2か所あり、美術館もすぐ近いです。それでも年に3〜4回は東京に出ます。

鶴舞バスターミナルから東京駅まで1時間20分位（以前は確か1時間であつた）で着きます。前は八重洲口の路上乗車口があつたのが、ビルの中のバスターミナルとなり、駅まで濡れることなく地下道を進めばいいだけです。沢山の飲食店があり、どこで何を食へるかというのも楽しみです。帰りも食事をしてバスに乗り込めばいいので本当に乗です。東京に行くのはどこにいかねば見ることもできないものがあるから、一つは居、一つは展覧会です。

8月の下旬に新宿のサザンシアターという劇場で「こまつ座」の「母と暮らせば」という芝居を観ました。「こまつ座」は作家の井上ひさしが自分の書く芝居を上演するために作った組織で、彼が亡くなった後も娘さんたちが後を継いでいます。ただこの作品は井上ひさしが原案を作り脚本は畑沢聖梧という新進気鋭の劇作家でした。井上ひさしには「父と暮らせば」という作品があり、これは広島島の原爆で亡くなった父と生き残った娘との話でした。「母と暮らせば」はこれと対をなす作品で、長崎の原爆で亡くなった息子と生き残った母との作品です。席は前から6列目中央や左寄り、役者の目の中の光るものまですべて見える

HONDA The Power of Dreams

— ホンダの夢 市原へ —

Honda Cars 市原

五井中央店 0436-24-1111(代)
馬立店 0436-95-5050(代)
HP: https://www.hondacars-ichihara.co.jp/

このもと紀行 停止めの国土地の荒

県大多喜君津線の国土地荒が、6月19日に崩落して通行止めになり、すでに4か月です。近隣住民の皆様のご不便をよくお聞きします。現在も千葉県が懸命な復旧作業に当たっています。

7月25日と9月25日に加茂地区の町会長さんを中心に説明会も開かれましたが、今だ先が見通せない状況です。

説明会の内容をご紹介します。

左の写真は千葉県ホームページから拝借しました。図面からは19日の崩落も含めて、計4回の大規模な崩落があつたことがわかります。千葉県では崖面上部にひずみ計を設置して、常時観測をしています。復旧の工法を決めるためのボーリング調査や弾性波



2024秋の里山生活 たまに東京へ

里山生活でよく困ったことも不便と思うこともなく、自分にとっては居心地のいいところ思っています。買い物も界隈のスーパーやホームセンターで足りるし、ネット上で必要なものはほとんど買えてしまうので買い物で東京に出かける必要性はまったくなくていいほどありません。複合的な映画館も市内には2か所あり、美術館もすぐ近いです。それでも年に3〜4回は東京に出ます。

鶴舞バスターミナルから東京駅まで1時間20分位（以前は確か1時間であつた）で着きます。前は八重洲口の路上乗車口があつたのが、ビルの中のバスターミナルとなり、駅まで濡れることなく地下道を進めばいいだけです。沢山の飲食店があり、どこで何を食へるかというのも楽しみです。帰りも食事をしてバスに乗り込めばいいので本当に乗です。東京に行くのはどこにいかねば見ることもできないものがあるから、一つは居、一つは展覧会です。

8月の下旬に新宿のサザンシアターという劇場で「こまつ座」の「母と暮らせば」という芝居を観ました。「こまつ座」は作家の井上ひさしが自分の書く芝居を上演するために作った組織で、彼が亡くなった後も娘さんたちが後を継いでいます。ただこの作品は井上ひさしが原案を作り脚本は畑沢聖梧という新進気鋭の劇作家でした。井上ひさしには「父と暮らせば」という作品があり、これは広島島の原爆で亡くなった父と生き残った娘との話でした。「母と暮らせば」はこれと対をなす作品で、長崎の原爆で亡くなった息子と生き残った母との作品です。席は前から6列目中央や左寄り、役者の目の中の光るものまですべて見える

位置でした。母親役に富田靖子、息子役に松下洸平。被曝して亡くなった息子が母の前に現れ、それぞれの思いを残しめめり互いを思いやつのやりとりで、次第に真実が明らかになっていき、母親は助産婦の道をまた歩もうとします。目の前で起こっているのは現実ではなく虚構であるのに、感情がどんどん入り込み胸が締め付けられました。

芝居は静かに終わりゆつくりとした拍手から始まり、次第にそれは高鳴り鳴りやまず、カーテンコールにあたる役者2人の登場は4度に及び、最後はスタンディングオベーションでの万雷の拍手となりました。こんなことは、千歳ころから芝居を見てきて初めての体験でした。

舞台を見てみると、目の前に本当にやりたいことをやっている人間がいて役者が光って見えます。翻って自分は本当にやりたいことをやっているのか。そのことをいつも問われている気がします。

日常では味わえない凝縮され濃密な人生を垣間見ることのできる芝居の魅力は尽きません。

（従糸里山通信員）